2024年度　委員会事業報告書

担当副理事長兼専務理事　髙木伸也
事務局長　髙鍬佑基

１．委員会開催日（19回）

01／11　01／18　02／08　03／14　03／26　04／11　05／09　05／28　06／13　07／11　08／08　08／29
09／12　10／07　10／10　10／17　11／07　11／27　12／05

２．事　業　報　告

(1)	定時総会・臨時総会の担当	1月30日･8月27日･12月23日
(2)	西尾張6JC合同例会（9月例会）の担当	9月10日･9月21日
(3)	西尾張6JC合同事業の担当	4月24日
(4)	わんぱく相撲海部津島場所の担当	5月18日
(5)	わんぱく相撲愛知ブロック大会の担当	6月29日
(6)	愛知ブロック　愛知ブロック大会稲沢大会の担当	9月21日
(7)	日本JC　全国大会の担当【福岡】	10月4日～6日
(8)	JCI　世界会議の担当【台湾】	10月30日～11月3日
(9)	シニアクラブ総会の担当	1月23日
(10)	西尾張6JCじゃがいもゴルフコンペの担当	5月14日
(11)	公開討論会の担当【飛島村】【衆議院議員選挙】	非開催・10月7日
(12)	総会の記録管理	1月･8月･12月
(13)	理事会議案の作成･精査	通年
(14)	JCニュースの編集と発行	1月･9月･12月
(15)	LOMホームページ・SNS運営の担当	通年
(16)	総会･例会・各種事業の記録保管の担当	通年
(17)	名刺作成の窓口	通年
(18)	JC会員名簿等に関する窓口	通年
(19)	定款諸規定及び会員名簿の作成	2023年12月
(20)	ネームタグ、スローガンパネルの作成	2023年12月
(21)	卓上ネームプレートの発注	2023年12月
(22)	基本資料の作成	1月
(23)	委員会表彰及び100%出席祝い品の選定	12月
(24)	卒業生記念品の選定	12月
(25)	西尾張6JC正副理事長会議の担当	2023年12月5日･2024年2月19日･4月9日･6月21日･8月7日･10月15日
(26)	LOMポロシャツの発注	通年
(27)	定款諸規定の見直し	通年
(28)	LOM運営マニュアルの見直し	通年
(29)	慶弔の窓口	通年

(30)　各諸団体の事業に関する窓口　通年
(31)　総会･例会の出席者確認報告　通年
(32)　新入会員の拡大　通年
(33)　新入会員の育成　通年
(34)　その他庶務　通年

３．委員会メンバー
髙鍬佑基　池田耕介

４．反省点及び申し送り事項
事務局では、円滑な事務局運営を図りつつ、各委員会と協力し、メンバーを下支えすることで組織としての一体感を高め力強い運動発信を行うことを目的に活動してまいりました。
まずは、「着実に例会や事業の準備を行うために、各委員会と綿密な連携を図り、闊達な会議が行えるよう取り組んでまいります。」という部分を達成するために、前年度と同様にスプレッドシートを活用しました。スプレッドシートの活用は理事会前に意見をいただくことで、スムーズな理事会を行えると考えていましたが、沢山の意見をいただくことも多く対応ができず、配信ができないことがありました。理事会前に意見をいただき、理事会に臨めることは良い点ではありましたが、議案作成が間に合わず再配信が遅くなることがありました。早くから議案を作成し、委員長にも促すことが事務局長としての役割であるたため、それができていればより良い理事会を行えたのではないかと考えます。また、監事からいただいたスプレッドシートの意見を汲み取ることができず、意図を勘違いして修正してしまうことが多かったです。分からければ事前に専務理事を通して、意図を確認するべきでした。この部分も上手く活用することができれば、スムーズな理事会運営を行えたのではないかと感じます。
また、各委員会との綿密な連携についても、私自身が議案に追われていることもあり、理事会の直前にしか連携が取れませんでした。各委員会の議案の進捗を細目に確認し、自分自身もサポートできる余裕をもつことができればより良い理事会運営ができたと感じます。監事の皆さまから期限の厳守を言われていたのにも関わらず、提出期限を徹底できず、配信の期限も守れませんでした。自分自身の働きかけがしっかりと行えなかったことを反省しています。メンバーの下支えについては、自分の協力できることは行い、サポートができた部分はあったと思います。しかし、事務局長として下支えができなかった部分も多いと思います。メンバーと連絡を取り合い、もっと深く関わることができれば下支えすることにつながっていたと思います。
また、「協働者と共にわんぱく相撲を作りあげることで地域の方々との関係値を深めてまいります。」という部分を達成するため、第 20 回わんぱく相撲海部津島場所を開催しました。子供たちに他者を思いやる礼儀礼節を習得していただくとともに、地域の協働者との関係値を深めるために開催をしました。今年度、参加していただいた高校は 3 校でしたが、多くの学生ボランティアを輩出していただけました。人数としては予定通りでしたが、地域との関係を深めていくためにはより多くの学校に参加をしていただきたかったです。地域の方々と関係を深めるためには、わんぱく相撲に参加していただいた親御さんとの会話や、共に子どもを応援することで、次回も出場したいと感じていただけるのではないかと考えます。高校生ボランティアの皆さまは先生も含めて積極的に設営や寸劇の準備をおこなってくれました。ボランティアの皆さまは意欲が高く、分からないことを積極的に聞いてくれました。また、先生からも青年会議所が行う事業に積極的に参加したいとのお声がけをいただきました。高校生を巻き込めるのは海部津島青年会議所の強みであり、わんぱく相撲を通して関係値は深まったと考えます。
さらに、基本方針の「西尾張エリアの次年度の運動発信する場に立ち会い知見を高めていただくことと、そのエリアの同志と協力し友情を深める」ことを目的とし、西尾張 6JC 合同例会(9 月例会)を行いました。

合同例会では、式典の部と事業の部を行い、式典の部では、多くの同志が集まる場で西尾張エリアの次年度理事長が登壇し厳粛な雰囲気の中で運動方針を発表することで、次年度の運動方針を理解し知見を高めていただくことができました。愛知ブロック大会稲沢大会の中で西尾張エリアの同志たちが協力し行った事業の部では、普段あまり行えないメンバー同士の交流も見られ、友情は深めることができたと考えます。西尾張エリアでの交流は、正副理事長など役職がつくほど増えてきます。また、今年度は西尾張6JCブロック大会実行委員会も設置されました。今後の人脈も広がり、学びも多い機会であるため、メンバーへの積極的な呼びかけを行うことが重要だと考えます。

そして、本年度は衆議院の解散に伴い衆議院議員選挙が開催されることとなり、公開討論会を行う形となりました。急遽、確定し開催までの期日に追われましたが、公開討論会は滞りなく行うことができました。中日新聞に掲載していただき問い合わせもありましたが、広報はSNSのみの広報となりました。今後は若い世代を巻き込んでいくためにも日頃からご協力いただいている高校生を中心に若者世代に興味をもっていただきたいと考えます。そのためには、今後開催される例会や事業への参加を引き続きお願いし、高校生とのつながりをもつことが大切だと考えます。

円滑な事務局運営とは、やるべきことを期日通りに行っていくと考えていましたが、時間が経つにつれて自分自身への甘え、時間を作ることの難しさを実感しました。また、私自身が時間をかけてやらなければ作成が進まないので、より時間の使い方を考えて行っていくべきでした。Zoom会議などを使用し、もっと人の力を借りて作成していけばより良い円滑な事務局運営につながると考えました。年間を通して、メンバーの下支えを行っていく立場ではございますが、自分自身が皆さまに支えていただき活動できたと思っております。運動発信につきましては、2人の委員長がしっかりと例会を構築していただき、協働者を巻き込むことができたので力強い運動発信は達成できたと考えます。以上で反省点及び申し送りとさせていただきます。

5．委　員　長　所　見

本年度、事務局長としてメンバーを下支えし、LOMの運動発信を行えるように活動してきました。事務局では予定者期間と年間の最後になるとやるべきことが多くなる傾向があります。このやるべきことを私自身の管理の甘さから行えなかったことが多くあり、途中でフォローをいれても追いつけない状態になってしまいました。日頃から、どのように行っていくかを考えて議案作成をしていかないと、完璧な議案は書けないと実感しました。早い段階から作成をし、少しでも議案に向き合う時間を取ることができれば変わっていたと思います。担当副理事長兼専務理事から早めに議案を作成するようにご指導いただきましたが、私自身の甘えによって議案の作成が遅くなってしまい、結果的にLOMメンバーの下支えができない部分が多々ありました。委員長を指導する立場の事務局長でありますが、議案の進捗は確認していたものの、配信を過ぎてからの上程を許してしまいました。私自身が、スケジュール通り行えていないため強く言うことができませんでした。事務局長として、しっかりと上程日までに議案を作成し模範になるよう行動していくことができれば、より良い事務局運営ができたと思いました。理事会が進んでいくにつれて自分自身の議案に追われリンクミスも増えてきました。事務局長の役割として、修正できていない議案を上程させない権限をもっています。期日までの提出を常に心掛けていれば良かったと感じております。ミスを減らすためにはギリギリの配信ではなく前もった議案作成を心がけていく必要があります。予定通りの上程を行うためにはしっかりと考え、メンバーにも頼って教えていただくことがとても大切だと感じました。組織しての一体感を高めるためには、日頃から連絡を取り合い、例会や事業報告をメンバーと共有し、多くのメンバーを巻き込み協力していく必要があると考えます。

事務局メンバーには少ない人数でありながら、理事会運営や設営、議案作成を共にやっていただきとても支えられました。今回初めての理事を受け、青年会議所は多くの人に支えながら活動することができる組織であると実感しました。未熟な私を支えてくれた副理事長兼専務理事、事務局次長をはじめとする多くのLOM

メンバーに感謝の言葉を述べ、私の委員長所見とさせていただきます、1年間ありがとうございました。

6．収　　支　　決　　算

収入の部				支出の部			
予　算		決　算		予　算		決　算	
事業費	685,000	事業費	554,290	(4)	370,000	(4)	311,327
				(5)	30,000	(5)	30,000
				(11)	15,000	(11)	0
				(14)	120,000	(14)	120,000
				(23)	50,000	(23)	46,763
				(24)	100,000	(24)	46,200
合　　計	685,000	合　　計	554,290	合　　計	685,000	合　　計	554,290